

# 物の大切さについて

今の子供たちは「物を大切にしない」とよく言われます。

学校における子供たちの様子をみてみましょう。

教室には、鉛筆、消しゴム等の落し物が箱の中にたくさんたまります。時には、ほとんど使っていないような真新しいものもあります。係りの子供が、「この鉛筆はだれのですか」と聞いても、落とし主は出てきません。鉛筆等に名前を書くことにより、このようなことはなくなるでしょうが、子供たちが自分のものを意識していない例だと思えます。

また、上着類の落し物についても同じことが言えます。中にはくつ下、体育着等の落し物まであります。家庭ではどうでしょうか。

欲しくて買ってもらったおもちゃでも、使えばなしで、手入れをしたり、きちんと片づけたりしないなどが見られます。

家庭では、子供に物をすぐ買い与え、欲求を満足させてしまう傾向があります。親は我慢しても子供には高価なものを買ってあげてはいないでしょうか。

私が小さい頃は勿論、現在のよう

に物が豊富ではありませんでした。着る物といえば母の手作りでした。兄や姉のお下がりもよく着ました。学校の制服やかばんもお下がりです。一年に一回か二回、デパートに母親と一緒に買い物に行っ

た。着る物といえは母の手作りでした。兄や姉のお下がりもよく着ました。学校の制服やかばんもお下がりです。一年に一回か二回、デパートに母親と一緒に買い物に行っ

た。着る物といえは母の手作りでした。兄や姉のお下がりもよく着ました。学校の制服やかばんもお下がりです。一年に一回か二回、デパートに母親と一緒に買い物に行っ

た。着る物といえは母の手作りでした。兄や姉のお下がりもよく着ました。学校の制服やかばんもお下がりです。一年に一回か二回、デパートに母親と一緒に買い物に行っ

た。着る物といえは母の手作りでした。兄や姉のお下がりもよく着ました。学校の制服やかばんもお下がりです。一年に一回か二回、デパートに母親と一緒に買い物に行っ

た。着る物といえは母の手作りでした。兄や姉のお下がりもよく着ました。学校の制服やかばんもお下がりです。一年に一回か二回、デパートに母親と一緒に買い物に行っ

た。着る物といえは母の手作りでした。兄や姉のお下がりもよく着ました。学校の制服やかばんもお下がりです。一年に一回か二回、デパートに母親と一緒に買い物に行っ

た。着る物といえは母の手作りでした。兄や姉のお下がりもよく着ました。学校の制服やかばんもお下がりです。一年に一回か二回、デパートに母親と一緒に買い物に行っ

た。着る物といえは母の手作りでした。兄や姉のお下がりもよく着ました。学校の制服やかばんもお下がりです。一年に一回か二回、デパートに母親と一緒に買い物に行っ

た。着る物といえは母の手作りでした。兄や姉のお下がりもよく着ました。学校の制服やかばんもお下がりです。一年に一回か二回、デパートに母親と一緒に買い物に行っ

たら……」（読売新聞）が地域での共同生活の場面のトラブルとして、新聞紙上をにぎわしたこともあったようです。

今は、世界中で環境問題が問われてきています。使い捨ての時代から、再利用をしようとする時代へと変わりつつあります。

行政や地域、学校では、再利用できるものを分別収集し、物の大切さをみんなで考えようとしています。

古着でも自分に合ったものであれば満足して着るなど、古着もファッションの一部であると考え、利用している人たちも出てきました。

また、ある市では、過大包装を控えるような取り組みも始めています。

このように「消費は美德」時代の生活は、少しずつ変化してきています。その時代に大人も物の価値、大切さを一時的に忘れ、その生活の中に入り込んでしまっています。

今、私たち大人が、日常生活において物に対する価値観を変え、生活することが大切です。

「子供は親の後ろ姿を見て育つ」と言われます。言葉で示すより、毎日の生活の中で、行動で示すことが基本です。そうすることにより、子供たちは自ら、物の大切さに気づき、行動できるように変わ

っていくでしょう。

捨てる時代「草むらの遊具使い……中二警察ショック」「ゴミ置き場の自転車論争——修理して使

## 巡回移動県民相談所の開設

県では次のようなことでお困りの方に無料の相談所を開設します。

気軽に相談ください。

（行政相談・法律相談・結婚相談  
交通事故相談・土地住宅相談）

日時 1月19日（水）

午前10時～午後3時まで

場所 市役所3階 大会議室

問合せ先 市民課市民生活係

## 青少年健全育成標語

### 入選作品発表

十一月の青少年健全育成強調月間には、青少年が健全に育つことを願って、全国各地で様々な行事が行われました。都留市でも青少年健全育成標語を一般募集したところ、広く市民の皆さんから六〇〇点をこえるの標語が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

### 審査結果

小学生の部

☆優秀 「親と子の楽しさ築く家庭の日」 旭小学校六年 根本理恵

☆佳作 「親切は明るい社会を築くもと」 宝小学校五年 高荒勇次

「青空ですかあなたの心の天気予報」 文大附属小学校六年 飯田麻紀

中学生の部

☆優秀 「信頼は友達助ける命づな」 都留第二中学校三年 野中寛之

☆佳作 「他人（ひと）の子も我が子と思う親心」 都留第二中学校二年 松下尚稔

「あいまいな返事が呼んでる心の非行」 東桂中学校三年 三枝春香

一般の部

☆優秀 「時と場所 声かけあって外へ出る」 法能 大沼重之